

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化 ① カーボンリサイクル技術に係る実証研究の加速

国への提案事項

1 大崎上島の実証研究拠点への革新的・先導的取組の集中

- 大崎上島におけるカーボンリサイクル技術に係る実証研究の取組を、2050年に向けた長期的国家プロジェクトとして位置づけ、カーボンリサイクル技術に係る革新的、先導的な取組を集中させること。また、大崎クールジェンプロジェクトを来年度以降も継続し、IGCC(石炭ガス化複合発電)とカーボンリサイクル技術を組み合わせ、ネットゼロカーボン火力発電技術の開発を一層推進すること。
- 国の関連研究開発事業において、当該拠点での取組や拠点のCO₂を活用するなど関連する取組に対する優先枠、補助率等の優遇制度を設けること。

2 CO₂削減に寄与する製品の市場創出

- カーボンリサイクル技術の社会実装やカーボンリサイクル製品の普及を加速するため、民間企業が開発に取り組むインセンティブとして、公共調達の推進などのCO₂削減に寄与する製品の需要喚起策や海外展開の支援などの環境整備を進めること。

3 「カーボンリサイクル産学官国際会議」の広島県での開催

- 我が国の先進的取組を世界に効果的に発信し、海外を含む民間投資を喚起するため、世界のカーボンリサイクル関係者が集う国際会議を、広島県で開催すること。【提案先省庁：経済産業省】

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化

① カーボンリサイクル技術に係る実証研究の加速

広島県は、国の取組と連携し、カーボンニュートラルのショーケース化を目指します

現状／広島県の取組

- 大崎上島のカーボンリサイクル技術に係る実証研究拠点は、昨年度から順次研究が開始されており、さらに基礎研究の採択も行われるなど、拠点機能が充実しつつある。
- 広島県では、昨年度、産学官による「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会」を創設するとともに、カーボン・サーキュラー・エコノミーの実現に向けて、広島県の強みを活かしながら、進む方向性を整理し、当面の具体的な取組をまとめた「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進構想」を作成した。
- また、協議会を通じて、国内スタートアップ企業がシーズを発表する交流会を開催するなど、プロジェクト案件等創出に向けたマッチング支援を行っている。
- さらに、今年度、カーボンリサイクルを対象とする新たな助成制度を創設し、本県を舞台にした研究・実証を支援している。

課題

- 気候変動問題への対応と産業振興、エネルギーの安定供給を同時に解決する必要があること。
- 難易度の高い技術開発・実用化を短期間で実現するためには、資金、人材等を集中し取り組む必要があること。
- 大崎上島の拠点化や実証研究のためには、大崎クールジェンで分離・回収されるCO₂が重要であるが、現状では大崎クールジェンプロジェクトが今年度で終了した後の稼働計画が未定であること。
- 欧米を始めとする世界中で関連投資が増額されている中、我が国の競争力を高めるためには、政府投資の継続に加え、民間投資の促進が必要であること。
- 本県が実施した県内企業に対するアンケート調査によると、73.4%の企業がカーボンリサイクルを知っているが、実際に取り組んでいる又は計画中の企業は2.6%に過ぎないこと。